

平成19年9月 台風9号による風水害対応状況について

記者発表資料

関東地方整備局管内では、平成19年9月台風9号による風水害により、河川や道路などの施設が被災を受け、7日6時00分から非常体制（現在も継続中）により対応にあたっているところです。

資料-1

道路については、神奈川県中郡大磯町国府新宿地先から中郡二宮町二宮地先の国道1号西湘バイパスにおいて台風9号の影響による大きな被害が発生し、現在も通行止めとなっています。上り車線を用いた対面通行の確保に向け、現在応急復旧工事を進めています。

今後、台風や天候不良等の影響がなければ、平成19年9月末での開通を目指しています。

資料-2

河川については、関東地方の各河川において、大きな出水となりましたが、地元の水防活動やダムなどの治水施設の低減効果により、浸水被害の軽減を図ることができました。

資料-3

また、群馬県内各地の道路損傷等の被災地の早期の災害復旧に向けて、関東地方整備局は、群馬県の要請を受け、職員8名及び照明車2台、投光器10台、衛星通信機器1式などを派遣し、県内の道路災害緊急調査の支援を行っています。

資料-4

被災状況や復旧見込みなどについては、逐次、関東地方整備局ホームページ(<http://www.ktr.mlit.go.jp>)でも公表する予定です。

平成19年9月10日14時 国土交通省関東地方整備局

同時発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 横浜海事記者クラブ 神奈川建設記者会
埼玉県政記者クラブ 都庁記者クラブ
神奈川県政記者クラブ 山梨県政記者クラブ
千葉県政記者クラブ 栃木県政記者クラブ 刀水クラブ
茨城県政記者クラブ 長野県庁会見場
長野市政記者クラブ 長野市政記者会

問い合わせ先

関東地方整備局 TEL (代表) 048-601-3151

所 属	氏 名	電 話
広報班 班長	大原 孝明	048-601-3151 (内線6332)



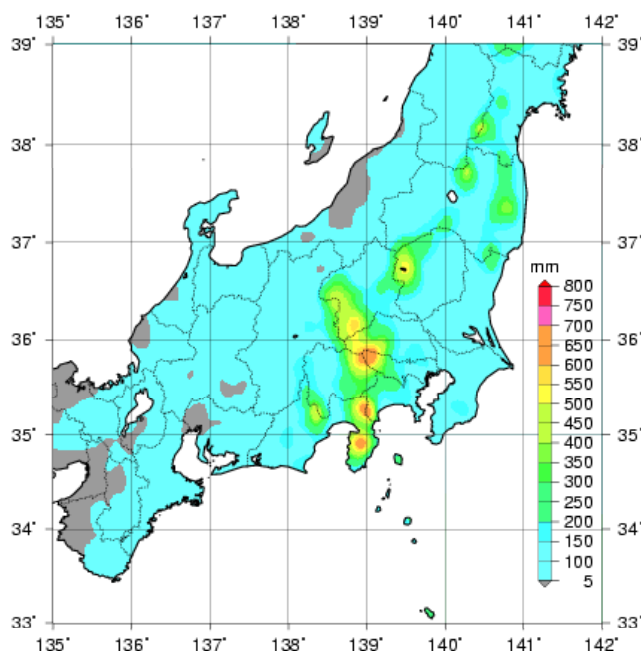
台風9号による風水害に伴う関東地方整備局の対応について

1. 降雨状況

関東地方では、5日の日中から6日の朝にかけては、台風の周辺を吹く暖かく湿った東風の影響で、山沿いや山間部の所々で強い雨が降った。6日の日中から7日朝にかけては、台風本体の雨雲がかかり、西部山間部を中心に広い範囲で激しい雨が降り大雨となった。

東京管区気象台管内の積算降水量分布図

(9月5日0時※～9月8日10時)



※累積データと分布図のデータは一致していない。

アメダス累積降水量 04日16時～07日15時まで

順位	県名	地点名	降水量mm
1位	東京	小河内	694.0
2位	神奈川	箱根	657.0
3位	埼玉	浦山	604.0
4位	群馬	稲倉山	595.0
5位	栃木	日光	558.5
6位	埼玉	三峰	543.5
7位	山梨	大菩薩	536.0
8位	東京	小沢	507.0
9位	群馬	万場	504.0
10位	栃木	足尾	482.5
11位	群馬	一の字山	444.0
12位	群馬	西野牧	429.5
13位	埼玉	ときかわ	401.5
14位	山梨	大月	384.0
15位	埼玉	上吉田	366.5
16位	埼玉	秩父	354.0
17位	群馬	田代	344.5
18位	神奈川	相模湖	327.0
19位	栃木	土呂部	308.5
20位	山梨	上野原	304.0

(財)日本気象協会：提供

2. 関東地方整備局の対応

- 1) 関東地方整備局では、5日22時50分に関東地方整備局長を本部長とする風水害対策本部（警戒体制）を設置したが、管内での災害等に鑑み、7日6時00分に非常体制に移行した。

※現在、**非常体制**継続中。

- 2) 平成19年9月10日14時00分現在の体制は下記のとおり。

① **非常体制** (計4)

- ・ 本部 2 本局、関東技術
- ・ 河川 1 湯西川ダム
- ・ 道路 1 横浜国道

② **警戒体制** (計2)

- ・ 道路 2 高崎河川国道（道路）、甲府河川国道（道路）

③ **注意体制** (計3)

- ・ 河川 3 江戸川、利根砂防、二瀬ダム

3. 河川の状況

1) 概況

10日 14:00現在の水位状況

関東地方整備局管内の直轄河川管理区間において、水防団待機水位以上の観測所はありません。

2) 河川の被害状況

- 湯西川ダム県道黒部西川線の一部崩落：全幅員7mのうち3mが崩落・工事用道路冠水被災
→湯西川ダム仮排水路トンネル工事の現場内。請負者が対応中。
- 利根川水系砂防
 - ・霧積川上流右岸県道で土石崩落
 - ・東沢川（下久保ダム直上流左岸）土砂流発生
 - ・野栗沢川で土砂流出により河道閉塞。（現在は、引き水で、最小限の河道確保）

4. 道路の状況

1) 道路の被害状況

- ・ **国道18号** 群馬県安中市松井田町新堀
 - 9月5日 22:50 土砂崩落発生(24.66kp)
 - 9月6日 0:20 土砂崩落発生(24.15kp)
 - 9月6日 14:15 24.66kp 応急復旧（土のう積作業）完了
 - 9月6日 18:25 24.15kp 応急復旧（土のう積、ブルーシート養生作業）完了
 - ◎ 人的被害なし、孤立集落なし
- ・ **国道1号** 神奈川県中郡二宮町二宮地先（西湘バイパス下り）
 - 9月6日 23:55 重力式擁壁流出（被災延長約500m）
路面陥没（5.38kp 付近約40m）
照明灯倒壊（4基）
下り車線本体土砂流出
 - 9月8日 9:00 応急復旧着手
 - 9月8日 22:00 災害協定に基づき、土工協に応援要請
 - ◎ 人的被害なし、孤立集落なし
- ・ **国道20号** 山梨県大月市梁川町綱之上
 - 9月7日 法面土砂崩落（下り線 82.35kp）
 - 9月7日 20:30 応急復旧完了
 - ◎ 人的・物的被害なし、孤立集落なし

2) 規制状況

■一般国道 (計4区間)

・ 国道18号

(群馬県安中市松井田町新堀)

→ 9月7日 12:50 24.66kp 片側交互通行

→ 9月7日 12:00 24.15kp 交互通行可能(登坂車線規制のみ)

◎ 規制理由:土砂崩落のため

碓氷バイパス

(群馬県安中市松井田町横川 ~ 長野県佐久郡軽井沢町軽井沢)

→ 9月6日 1:40 規制延長(15km)

9月7日 14:00 規制解除(一部登坂車線規制有り)

・ 国道1号 西湘バイパス

→ 9月6日 12:30 大磯西I.C ~ 西湘二宮I.C 全面通行止め 継続中

→ 9月8日 7:00 大磯東I.C ~ 大磯西I.C 全面通行止め解除

(大磯西I.C ~ 西湘二宮I.C 全面通行止め 継続中)

◎ 規制理由:越波による被災のため通行止め

* 迂回路:国道1号(現道)

・ 国道20号

(山梨県上野原市四方津 ~ 山梨県大月市梁川町新倉)

→ 9月6日 21:10 規制延長(1.5km) 全面通行止め

→ 9月7日 20:30 規制延長(1.5km) 片側交互通行(応急復旧完了)

◎ 規制理由:法面土砂崩落のため

■高速自動車道((財)日本道路交通情報センターHPより)

路線名	方向	規制区間			原因	規制内容
西湘バイパス	上り	西湘二宮I.C	←	橋料金所	災害	通行止め
西湘バイパス	下り	国府津I.C	←	西湘二宮I.C	災害	通行止め
上信越道	上り 〃 下り	吉井I.C付近 富岡I.C 藤岡I.C	← ← ←	吉井I.C 富岡トンネル 藤岡JCT 等	工事	車線規制

5－1 災害対策機械等

支援要請者	応援対応者	応援内容	経過等
湯西川ダム工事	関東技術 利根川上流 鬼怒ダム統管	照明車 3 台 派遣 (湯西川ダム管内、土砂崩落現場) Ku-SAT 1 台 派遣	9.8 12:40 出動要請 9.8 19:00 現地到着
横浜国道 (大磯出張所)	関東技術 東京国道 相武国道	照明車 6 台 派遣 衛星通信車 1 台 派遣 災害対策本部車 1 台 派遣 待機支援車 1 台 派遣	9.7 11:15 出動要請 9.7 19:00 現地到着 9.9 6:00 1 台帰還 (道路調査車 1 台)

5－2 自治体への支援

自治体	出動（被害）	応援内容	経過
埼玉県 川越市	6 日 23:15 (浸水による被害)	ポンプ車 1 台 照明車 1 台	7 日 18:00 帰還
群馬県 高崎市	7 日 1:00 (浸水による被害)	ポンプ車 1 台 照明車 1 台	7 日 11:40 帰還
群馬県 〔安中土木事務所管内〕 〔富岡土木事務所管内〕	9 日 (道路災害緊急調査)	現地調査 8 名 県庁連絡員 1 名 〔大宮国道 4 名〕 〔高崎河川国道 5 名〕	9 日 21:00 帰還

台風9号による災害情報 (道路部)

現時点

2007/9/10 12:25

■体制状況 (非常 2、警戒 2)

事務所	現時点体制		開始日時	解除日時
道路部	非常体制		09/07 6:00	
横浜国道	非常体制		09/06 6:00	
高崎河川国道	警戒体制		09/07 14:00	
甲府河川国道	警戒体制		09/07 10:50	

■通行止め状況

・直轄国道 現在:3箇所(うち被災箇所:3箇所) ピーク時:9箇所(うち被災箇所:3箇所)

路線	都県	区間	規制状況	規制日時	規制原因	解除日時等
国道1号	神奈川県	大磯西IC～西湘二宮IC	全面通行止	09/06 12:30	越波、擁壁破損	本格復旧を開始
国道18号	群馬県	安中市松井田町新堀	一部片側交互通行	09/05 22:50	法面崩落	9/10より本格復旧を開始
完 国道18号	(碓氷B.P.)	群馬県 安中市松井田町横川～佐久郡軽井沢町軽井沢	全面通行止	09/06 1:40	事前通行規制	09/07 14:00
完 国道18号	長野県	御代田町馬瀬口～小諸市平原	全面通行止	09/07 1:00	倒木	09/07 7:00
完 国道20号	東京都	八王子市南浅川町～相模原市相模湖町与瀬	全面通行止	09/07 1:00	事前通行規制	09/07 7:10
完 国道20号	山梨県	甲府市大和町鶴瀬～甲府市勝沼町柏尾	全面通行止	09/06 18:10	事前通行規制	09/07 7:00
国道20号	山梨県	大月市梁川町新倉～大月市梁川町綱之上(綱之上洞門)	片側交互通行	09/07 20:30	法面表土崩落	対策工実施し、9/10解除予定
完 国道52号	山梨県	南部町中野～見延町相又	全面通行止	09/07 1:10	事前通行規制	09/07 5:50
完 国道357号	神奈川県	大井埠頭～本牧埠頭	全面通行止	09/07 1:10	事前通行規制	09/07 7:15

・高速道路・有料道路 現在:1路線 ピーク時:9路線

路線	区間	上下	規制日時
完 上信越道	下仁田IC～富岡IC	上	解除
完	下仁田IC～富岡IC	下	解除
完 中央道	甲府昭和IC～上野原IC	上	解除
完	八王子IC～勝沼IC	下	解除
完	大月JCT～河口湖IC	上	解除
完	大月JCT～河口湖IC	下	解除
完 東名	富士IC～大井松田IC	上	解除
完	沼津IC～大井松田IC	下	解除
完 首都高			解除

路線	区間	上下	規制日時
完 圏央道	八王子JCT～あきる野IC	内	解除
完	八王子JCT～あきる野IC	外	解除
完 箱根新道	山崎IC～箱根峠IC	上	解除'09/08 7:00
完	山崎IC～箱根峠IC	下	解除'09/08 7:00
完 アクアライン	川崎浮島JCT～木更津金田IC	上	解除
完	川崎浮島JCT～袖ヶ浦IC	下	解除
完 西湘バイパス	西湘二宮IC～橘IC	上	09/06 8:30
	西湘二宮IC～国府津IC	下	09/06 15:30
一部完	橘IC～早川IC	上	一部解除'09/07 18:00
一部完	国府津IC～早川IC	下	一部解除'09/08 1:00
完 真鶴道路	全線	上下	解除(片側交互通行)

★西湘バイパスの動き

①9日(日) 防災ドクターによる現地調査 本格応急復旧の開始

■直轄以外での通行止め箇所数(事前通行規制を含む)

・補助国道 現在:11箇所(うち被災箇所:6箇所、孤立箇所:なし)
・地方道 現在:61箇所(うち被災箇所:24箇所、孤立箇所:5箇所)

台風9号による西湘バイパス通行止めに伴う 広域迂回のお願について (小田原厚木道路の通行料金の無料措置)

記者発表資料

西湘バイパスでは、平成19年9月6日から7日の台風9号の影響による大きな被害が発生しており、下記の箇所において通行止めとなっています。(別紙「西湘バイパス被災状況」参照)

現在、上り車線を用いた対面通行の確保に向け、応急復旧工事を進めています。

(別紙「西湘バイパス応急復旧手順」参照)

今後、台風や天候不良等の影響がなければ、平成19年9月末での開通を目指しています。

また、西湘バイパスの通行止めの影響により、国道1号(大磯・二宮地区)で渋滞が発生しています。東京・千葉・横浜方面と静岡方面の間での移動については、小田原厚木道路や東名高速道路、国道246号へ迂回いただきますようお願いします。

(別紙「西湘バイパス迂回路案内」参照)

なお、迂回路として利用していただけるように、当面の間、小田原厚木道路の通行料金を全線無料とします。

復旧見込み等については、記者発表、道路情報板等により随時、情報提供いたします。また、関東地方整備局ホームページ <http://www.ktr.mlit.go.jp>、中日本高速道路(株)ホームページ <http://www.c-nexco.co.jp> での情報提供も行っております。

ご迷惑をおかけしますが、ご協力頂きますようよろしくお願いします。

通行止め区間：【上り線】西湘バイパス 大磯西IC～橘IC
【下り線】西湘バイパス 大磯西IC～国府津IC

迂回路：別紙「西湘バイパス迂回路案内」参照
＜小田原厚木道路の通行料金無料措置について＞
・区間：厚木ICから箱根口ICの間(全線)
・開始日時：平成19年9月10日(月)14時から
・期間：原則、応急復旧工事が完了するまで

平成19年9月10日
国土交通省 関東地方整備局
中日本高速道路株式会社横浜支社

記者発表クラブ

竹芝記者クラブ、横浜海事記者クラブ、神奈川建設記者会、神奈川県政記者クラブ、都庁記者クラブ、千葉県政記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、茨城県政記者クラブ、栃木県政記者クラブ、刀水クラブ、山梨県政記者クラブ、長野市政記者クラブ、長野市政記者会、長野県庁会見場、静岡県政記者クラブ

問い合わせ先

関東地方整備局横浜国道事務所
計画課 課長 土肥 学 電話 045-311-2981 (内線301)
NEXCO中日本ハイウェイガイド 電話 0570-090333
※PHS、IP電話のお客様は、電話 052-223-0333

西湘バイパス被災状況 4/10 12:00現在)

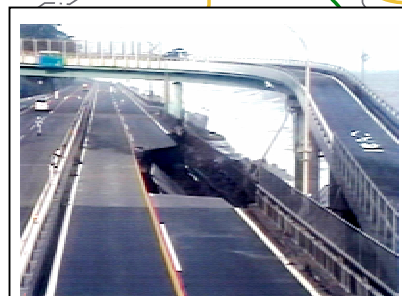
西湘バイパスの被災状況

<国土交通省管理区間>
 ■被災状況 重力式擁壁倒壊 流出 約1,000m
 路面崩落、壁高欄式ガードレール倒壊 約1,000mの一部
 照明灯倒壊 4基

<中日本高速道路株式会社管理区間>
 ■被災状況 擁壁破損 約10m
 擁壁破損 路面崩壊 約100m



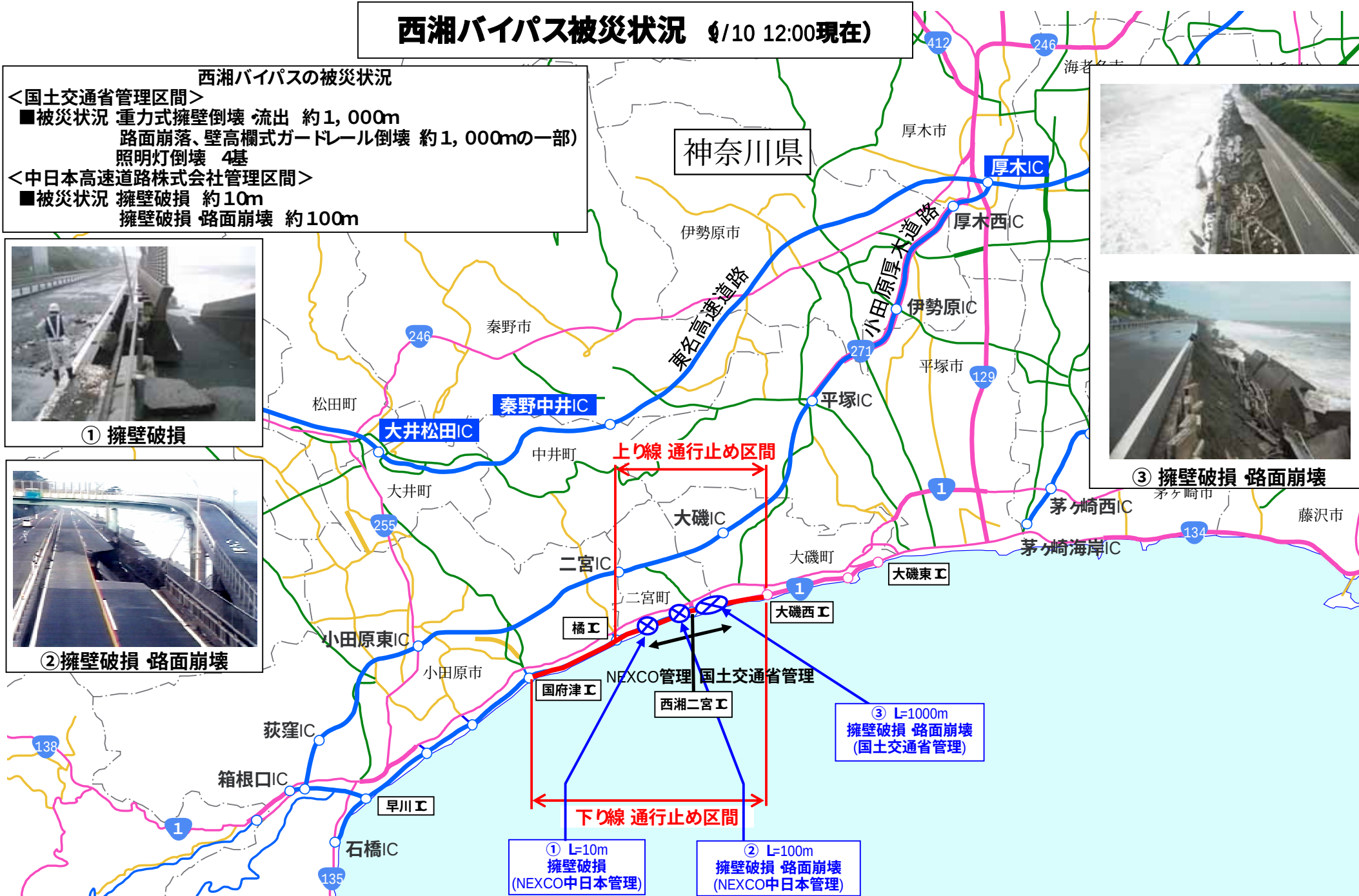
① 擁壁破損



② 擁壁破損 路面崩壊

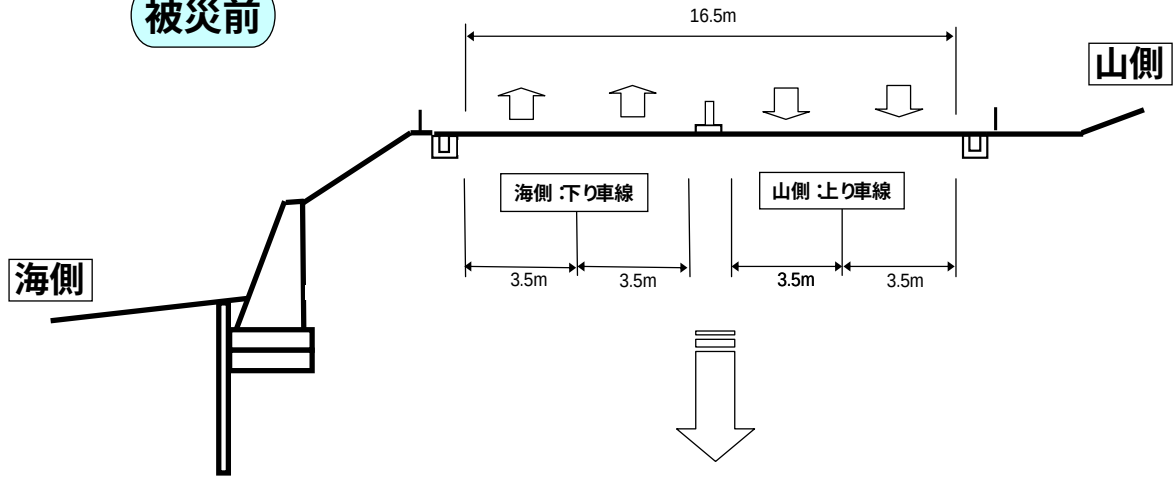


③ 擁壁破損 路面崩壊

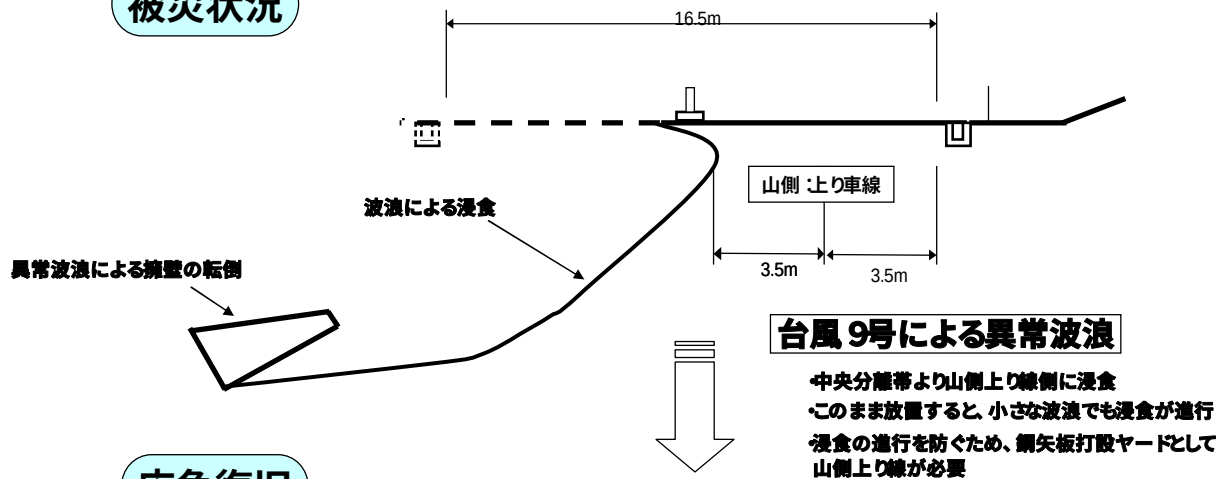


西湘バイパス応急復旧手順

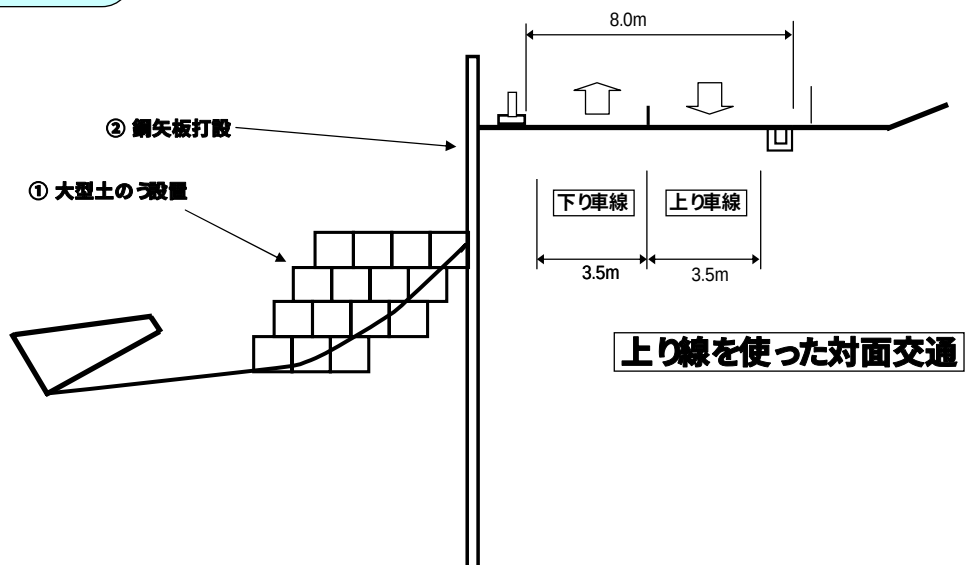
被災前



被災状況



応急復旧



西湘バイパス迂回路案内



平成19年9月台風9号による 出水状況と治水施設の効果について

平成19年9月10日

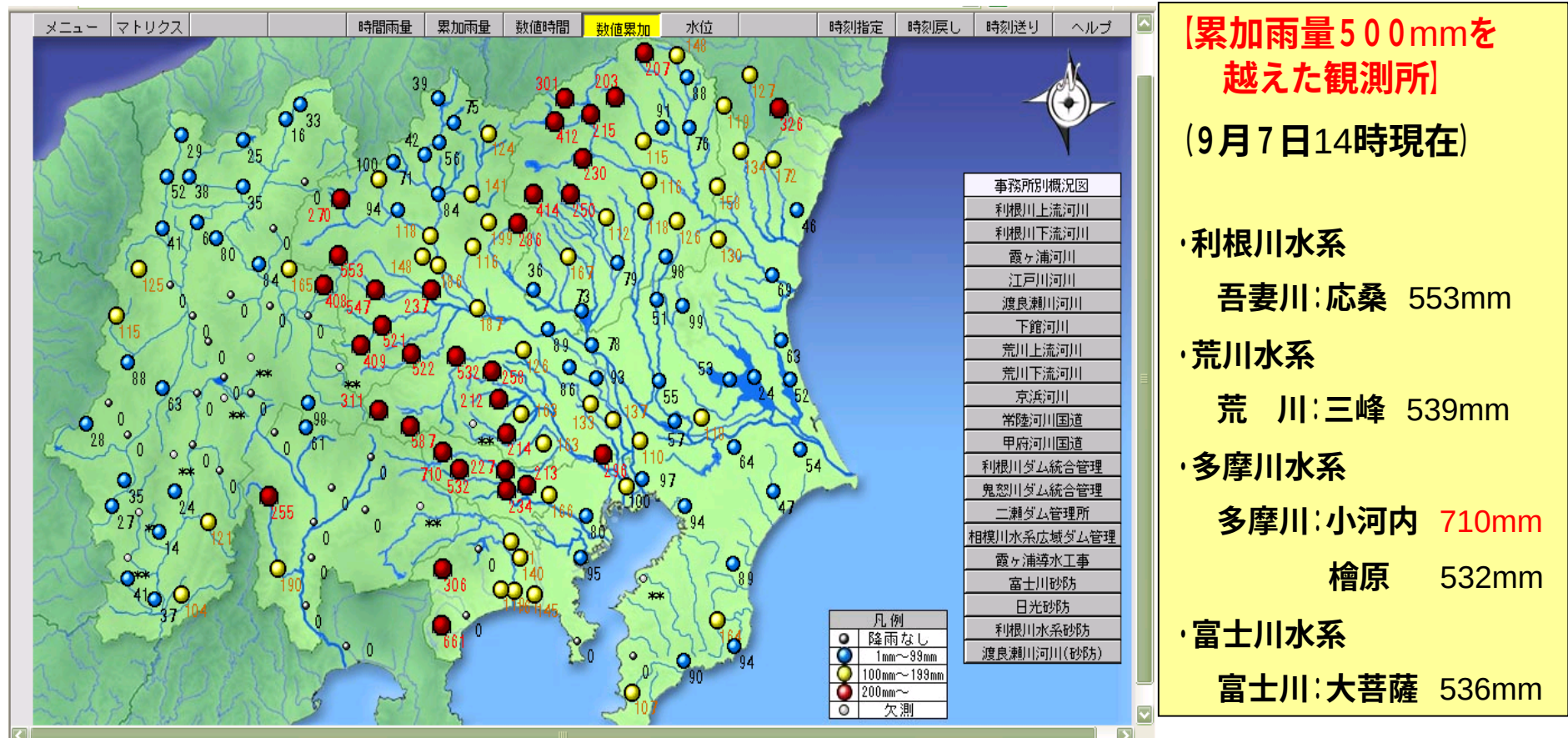


国土交通省 関東地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure and Transport Kanto Regional Development Bureau.

※本資料は速報及び暫定値であり、今後の調査により変更の可能性があります。

1. 降雨概要

- ・台風9号の影響により関東地方整備局管内では、
山間部において降り始めからの**累加雨量が500mmを超過**



(平成19年9月7日 14時現在)

国交省資料

2. 出水概況

- ・台風9号の影響により関東地方整備局管内では、**6河川で氾濫危険水位を超過**
- ・多摩川(石原)ではHWL(計画高水位)を超過
- ・荒川(熊谷)では既往最高水位を記録

石原水位観測所(多摩川)付近



〔氾濫危険水位超過〕

- ・多摩川水系多摩川 石原
- ・相模川水系相模川 神川橋
- ・荒川水系荒川 熊谷
- ・荒川水系都幾川 野本
- ・荒川水系高麗川 坂戸
- ・利根川水系鍬川 山名

河川名	観測所名	ピーク時刻	ピーク水位	はん濫危険水位
荒川	熊谷	9/7 1:00 1:10	5.65	4.9
鍬川	山名	9/7 0:40	5	3.6
多摩川	石原	9/7 6:20	6.02	5.2
都幾川	坂戸	9/7 7:00	2.84	2.4
高麗川	野本	9/7 7:40 8:00	4.52	3.9
相模川	神川橋	9/7 5:00	6.89	6.8

※数値等については速報値

山名水位観測所(鍬川)付近



3-1. 治水施設の稼働状況

・関東地方整備局管内の排水施設並びに調節池等の治水施設により被害の軽減を図りました。今回の出水により稼働した排水施設は、三郷排水機場を初め48施設、総排水ポンプ量1,438m³/s、総排水量は、東京ドーム 35杯分に相当。(4,400万m³)

H19.9.7 台風9号による出水状況(首都圏外郭放水路)



第3立坑(倉松川) 流入状況



第3立坑(倉松川) 越流状況

管内排水機場稼働状況

利根川上流 → 谷田川排水機場、蓮花川排水機場、休泊川排水機場

利根川下流 → 根本名川排水機場、小野川排水機場、尾羽根川排水機場、北千葉第一機場、十日川排水機場、相野谷川排水機場、戸田井排水機場

○江戸川 → 三郷排水機場、松戸排水機場、古ヶ崎排水機場、根本排水機場、伝右川排水機場、八潮排水機場、外郭放水路庄和排水機場

○渡良瀬川 → 三杉川排水機場、菊沢川排水機場

○下館 → 高木川排水機場、糸繰川排水機場、八間堀川排水機場、高野救急排水施設、篠山救急排水施設

○荒川上流 → 通殿川排水機場、川島排水機場

○荒川下流 → 新芝川排水機場、綾瀬排水機場

○甲府 → 柏排水機場

3-2. 治水施設の稼働状況

H19.9.7 台風9号による出水状況 (調節池)

渡良瀬第2調節池 越流状況
(9/7 11:00 越流開始)



渡良瀬遊水地では、第1、第2、第3調節池の3調節池に平成14年7月(台風6号)出水以来の流入を記録。

荒川第1調節池 越流状況
(9/7 15:45 越流開始)



荒川第1調節池では、完成前の平成11年8月出水以来2回目の流入(完成後初<平成16年完成>)。

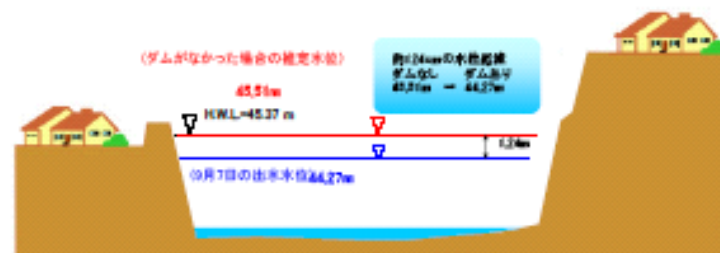
ダムの洪水調節効果【宮ヶ瀬ダム】

- ・宮ヶ瀬ダムの流入量は、平成11年の一部運用開始以降で最大となる毎秒802m³/sを記録。
- ・宮ヶ瀬ダム上流域での時間最大雨量は50.6mm(7日0時から1時まで)、7日7時までの累加雨量は450mmを記録。
- ・毎秒701m³をダムに貯留し、下流の洪水被害の軽減をはかった。この結果、ダム下流の中津川才戸橋地点・厚木市において、約1.24mの水位低減効果があった。

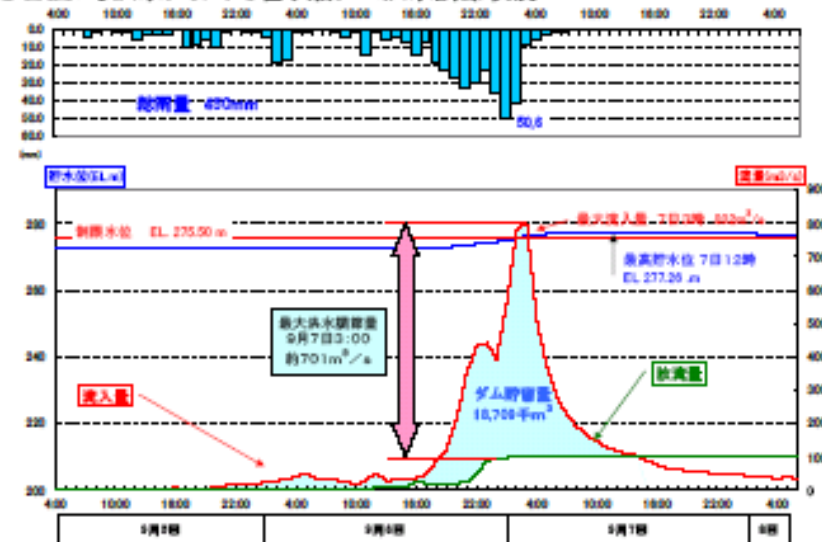
●宮ヶ瀬ダム位置図



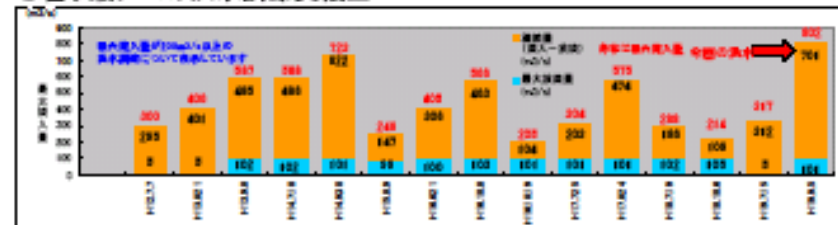
●宮ヶ瀬ダムの洪水調節効果(才戸橋)



●台風9号洪水における宮ヶ瀬ダム洪水調節状況



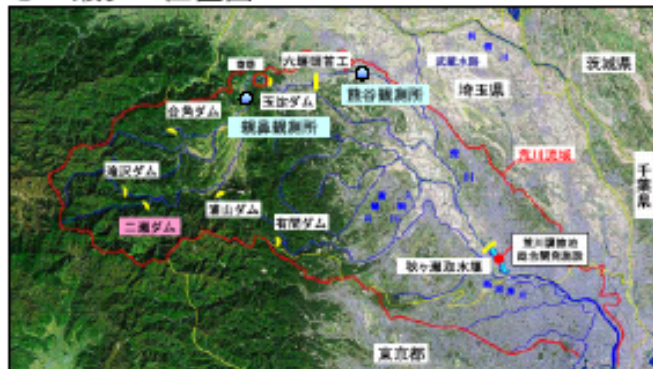
●宮ヶ瀬ダムの洪水調節実績図



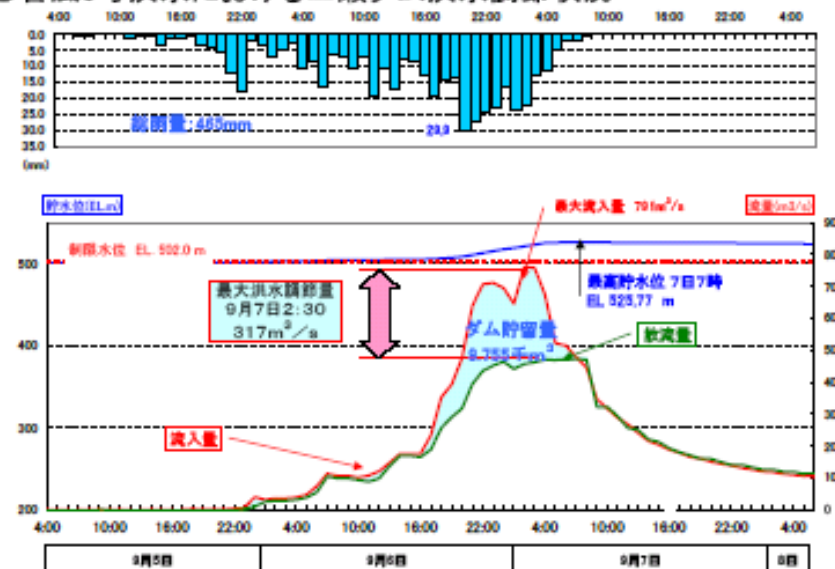
ダムの洪水調節効果【二瀬ダム】

- ・二瀬ダム管理所は9月5日21時30分に洪水対策支部を設置し、注意体制に入った。その後、9月6日16時50分に警戒体制に移行した。
- ・二瀬ダムへの流入量は昭和36年のダム完成以降、最大となる791m³/sを記録。
- ・二瀬ダムでは9月6日より総量9,755千m³の洪水調節を実施し、最大で317m³/sの洪水ピークカットを行った。

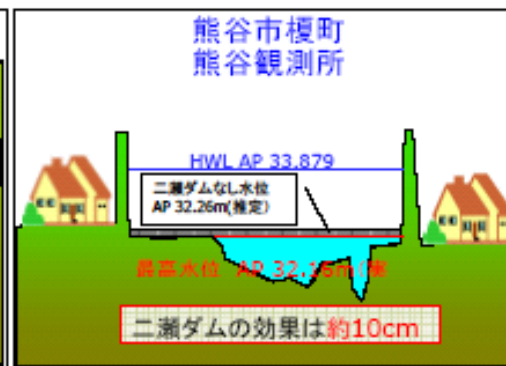
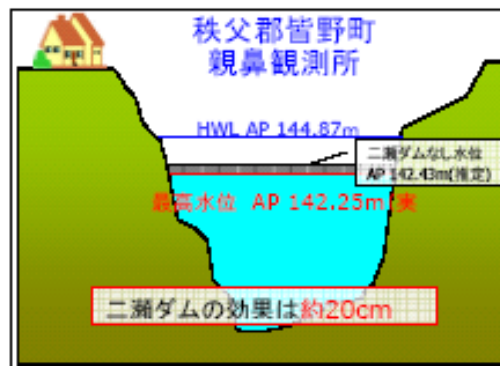
●二瀬ダム位置図



●台風9号洪水における二瀬ダム洪水調節状況



●二瀬ダムの洪水調節効果



【利根川水系 烏川支川 鍬川】 治水効果（H19.9台風9号）

●利根川水系鍬川左岸0.3km（群馬県高崎市阿久津地先）において、無堤箇所（築堤等の事業実施中）より浸水被害（約80,000m²）が発生（家屋等への浸水被害なし）

●一方、鍬川3.0km付近鮎川合流点（群馬県藤岡市市上落合地先）では河道改修により浸水被害1.5ha（想定）を防止。



【多摩川水系 多摩川】治水効果 (H19. 9台風9号)

多摩川：二ヶ領宿河原堰改築

二ヶ領宿河原堰は、全面可動堰として平成11年に改築完了。

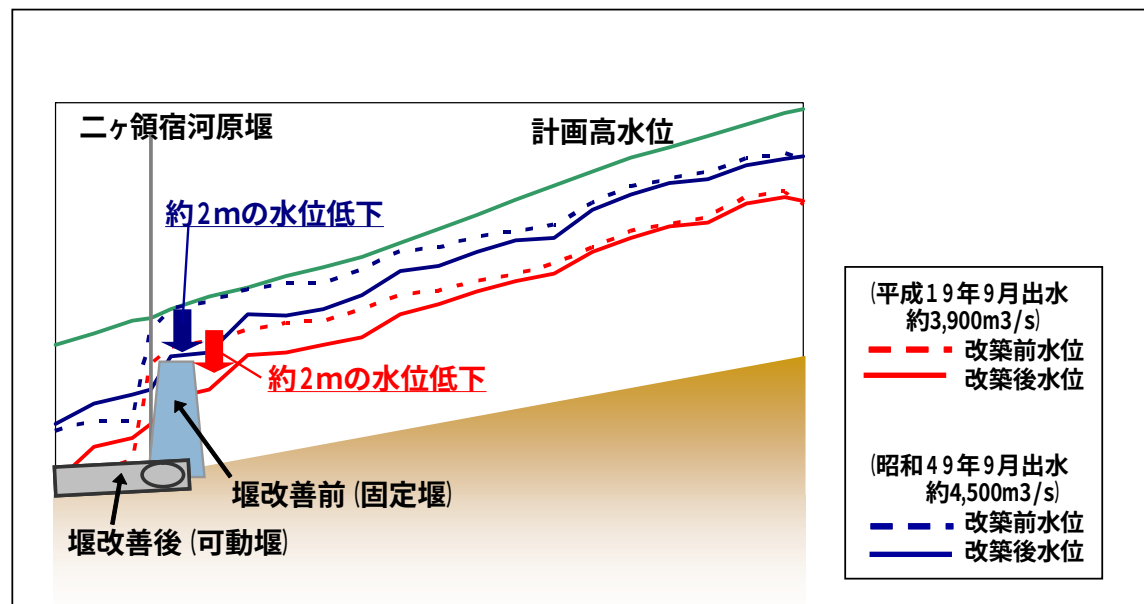
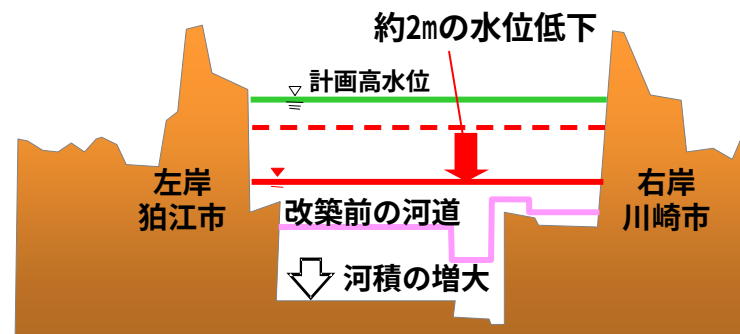
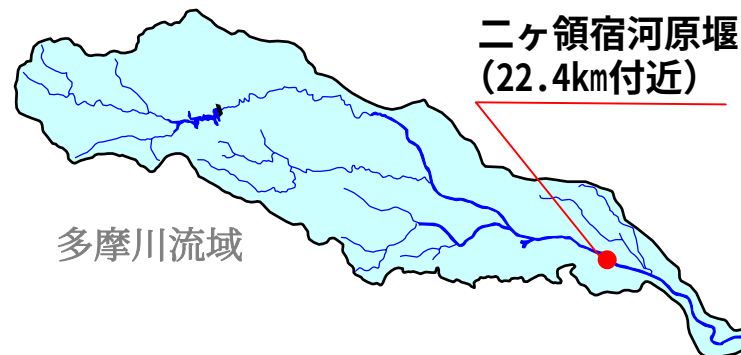
この整備により台風9号出水では、床止上流において最大約2mの水位が低下があったと試算。

これにより、再度災害の防止、周辺河川構造物への被害の軽減が図られた。

(H19 台風9号での石原地点の流量約3,900m³/sが流下した場合の試算)



平成19年9月7日撮影

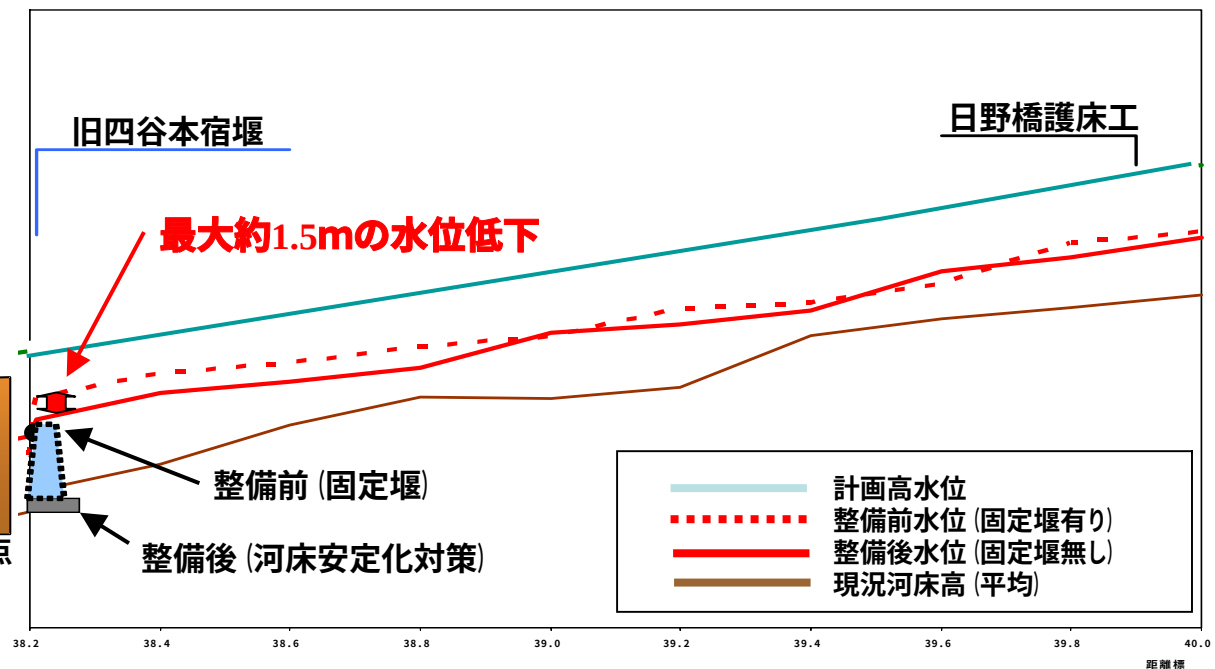
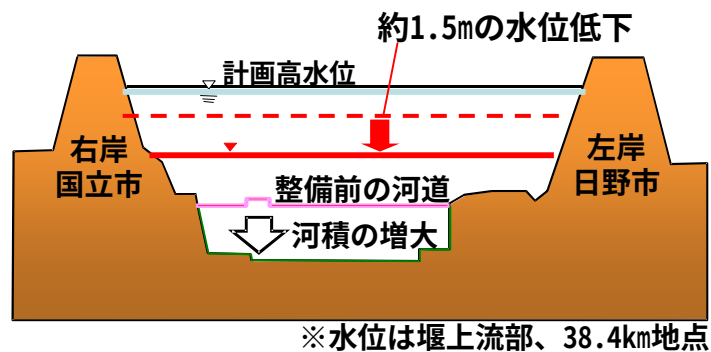
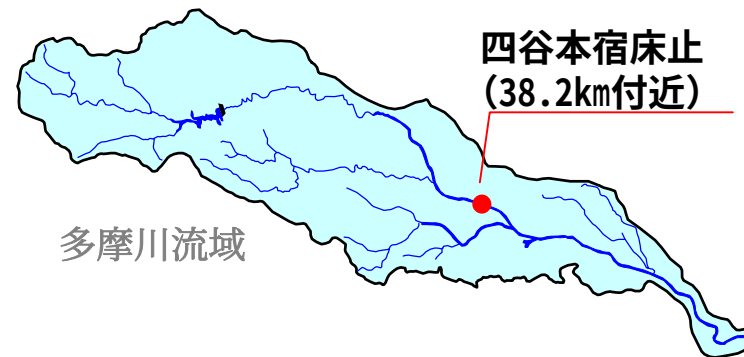


【多摩川水系 多摩川】治水効果 (H19. 9台風9号)

多摩川：四谷本宿床止整備

平成13年に崩壊した四ッ谷本宿堰は、関係機関の協力を得て四谷本宿床止として平成16年に整備。
この床止整備により台風9号出水では、床止上流において**最大約1.5mの水位低下**があったと試算。
これにより、再度災害の防止、周辺河川構造物への被害の軽減が図られた。

(H19 台風9号での日野橋地点の流量約3,000m³/sが流下した場合の試算)



群馬県への道路災害緊急調査の支援隊派遣について

(１) 派遣期間

平成１９年９月９日（日）の１日間

(２) 派遣地

群馬県内（現地調査は、^{かんらぐんなんもくむら}甘楽郡南牧村内、^{あんなかし}安中市内（^{まついだまち}旧松井田町内））

(３) 構 成

国土交通省関東地方整備局職員各４名体制の２班で編成

- ・高崎河川国道事務所より４名
- ・大宮国道事務所より４名

○関東地方整備局では、群馬県の要請を受けて、台風９号による被災地域の被害調査を支援するため、職員各４名体制の２班を現地に派遣し、主に南牧村内の県道の被害状況調査を実施しました。

また、支援体制の連絡調整を行うため職員１名を群馬県庁に派遣しました。

○現地では、豪雨による土砂流出や路面陥没などが確認され、これらの被災規模を測定し、群馬県へ報告しました。

○今後、これらの調査結果が復旧に向けた基礎資料となります。



＜県道 ^{ほしおはざわ}星尾羽沢線：路面陥没＞



＜国道１８号（県管理）：土砂流出＞

○この他、下記の機器を派遣しています。

- ・Ku－sat １台
- ・照明車 ２台
- ・投光器 １０台